



わんにゃん通信

2014年

2月号

寒さも本番 コタツのみの暖房で過ごしている我が家。

一度入るとなかなか出れず まさに運動不足(T_T)/~~~

確実に体重増加中！スタッフの中には三月の健康診断に向

けてダイエットに励んでいる人もいます。が、米！白米！が

大好きなんです♥やばい(p_-)いつから始めるんだろう・・・

ダイエット・・・・・・・・・・・・・・・・。



今回は、犬、猫の特徴や生活についてです。



犬

人と暮らす犬は自分と家族をひとつの群れだと考えます。群れのリーダーは家族です。日本では犬と暮らす時リーダーの役割をするという認識が薄いようです。人がリーダーをとらなければ犬がリーダーになったと思い込み飼い主の言うことを聞かずわがままを身につけてしまいます。家族に迎え入れた時から可愛がりながらもきちんと上下関係を確立することが大切です。



猫

猫は単独で狩りをする動物なので、犬のように基本的に群れもリーダーも必要ではありません。人と暮らしていてもリーダーとして人を頼らず強い依存はしない動物です。犬と猫ではかなり生活のスタイルが違います。長時間待ち伏せができる習性を持っているので留守がちな飼い主との生活にも向いているのです。

それぞれの習性やライフスタイルも関係して

人は犬派 猫派というように分かれるのですね。





犬の特徴

眼 犬の視覚は人に比べて光や動くものに敏感に反応しますが細かい部分の視力は劣ります。しかし暗い所でも、人の1/6ほどの光で物を見ることができます。

鼻 犬の感覚器で最も発達しています。犬の鼻にある臭いの受け皿は2億個以上、人は500万個です。

耳 耳を音の方向に動かして音をとらえます。1/600秒で音の源を確認でき、人の4倍も遠くの物音をとらえます。

歯 刺したり、啜えたりする大きな犬歯があり、物を噛み砕いたり、すりつぶしたりできる歯もあります
乳歯は28本、永久歯は42本 生後約半年で永久歯に生え替わります。



猫の特徴

眼 猫は視覚動物で目は顔の正面にあり、視野は100度あります。いちばんよく見えるのは2～6mで、その中で動くものは蟻1匹逃しません。

鼻 犬と人間の間くらいでそれほど鋭くありません。

耳 高い音が聞こえる範囲は、人が1万8000ヘルツに比べて、猫は6万ヘルツと高い音域にあります。耳の筋肉も人は9個ですが猫は27個もあって音の方向を正確に探ります。

触覚 ヒゲに代表される感覚毛を体の何カ所にも持っていて 狭い所やヤブ、草むらなどを歩くときのレーダーの役割をしています。

犬の発情

一般に犬の発情は6ヶ月ごとにみられますが発情の感覚はかなり違います。発情は膣の膨らみと出血がみられることでわかります。出血が少ない犬やなめてしまっていると気づかないこともあります。

雄犬には発情期はありません。

雌の発情期のフェロモンを嗅ぐと遠吠えをしたり落ち着きがなくなったりして雌のところに向かおうとします

猫の発情

猫の発情に出血は見られません。発情期独特の行動の異常が現れます。雌猫は盛んに鳴いたり 異常に体をすり寄せてきます。生後約6ヶ月頃からみられ犬と違って不定期に長期間続くため繰り返し何回も発情します。

交尾排卵なので交配すると100%の妊娠率になります。

出産をさせる予定のない場合は早期に避妊手術を行いましょう。

病院でも避妊 去勢手術の予約が混雑してきています（特に猫）妊娠が進んでからの手術は母体へのリスクも増加します。慌てる前に早めの手術をお勧めします。